

授業評価アンケート

2022年度 前期

授業コード : 221077

授業科目名 : 解剖学I

担当教員名 : 白澤 信行

履修者数 : 91名

回答者数 : 88名

学部 :	医療福祉	77	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	11						
学科専攻 :	理学療法	77	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	11						
学年 :	1年	74	2年	0	3年	0	4年	0
							無回答	14

設問文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	71	10	0	0	0	4.88	4.57																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	53	28	0	1	6	4.38	4.22																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	33	28	14	10	3	3.89	4.17																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	18	28	20	10	12	3.34	3.64																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>83</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>6</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>0</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>0</td> <td>無回答</td> <td>5</td> </tr> </table>							対面授業	83	遠隔(meet)	6	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	5
対面授業	83	遠隔(meet)	6	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	5																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	35	39	6	3	3	4.16	4.53																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	17	33	17	18	3	3.49	4.33																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	11	14	30	19	14	2.88	4.03																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	13	18	25	21	11	3.01	4.31																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	16	28	36	5	3	3.56	4.31																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	11	34	25	12	4	3.42	4.31																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	23	39	20	4	2	3.88	4.48																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	24	47	12	3	2	4.00	4.39																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	17	42	23	4	2	3.77	4.40																

学生へのメッセージ

入学してすぐに始まる解剖学は講義時間が長く、覚えることも多く(運動器のプロメテルスだけでも600ページ)、苦勞したと思います。200分14回の講義(46時間)で終わってしまった訳ですから、予習と復習が大切であることを痛感したはず。高校時代の勉強時間から大学1年前期を終了したことは、出生と同じくらいの大きな変化であったとともに、解剖学1の単位を取得したことは大きな進歩でした。解剖学は基礎学問ですのでここで学んで覚えたことは理学療法士になっても役立つことが必ずあります。その時に一度学んで覚えたことは、教科書や参考書を開いても復習しやすくなります。引き続き解剖学2の内臓学を学ぶことにより、3年後の国試と理学療法士として患者さんのより良い治療に役立てることを期待しております。引き続き勉強を続けながら、楽しい大学生活を送りましょう。

